

日爪の城

第18回近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝には、今年は市内5か所の山城が参加を予定しており、10時30分ごろから順にのろしのリレーが行われる予定です。(詳細は下欄記事参照) 参加山城の一つ日爪城をご紹介します。

高島市の中世城館跡

市内には、80を超える中世の城館跡が存在すると言われています。お城というと、江戸時代の豪壮な天守や大規模な石垣、堀等を持つものを連想しがちですが、中世の城館跡は、領主が居住する平屋造りの建物であったり、戦の途中で使う筈のような建物であったりする場合が多く見られます。現



日爪城土橋

在市内で見られる城館跡も、一見するだけでは城跡と分かりづらい場所が多いですが、地形を観察すると城郭の遺構が残っていたり、周辺に城跡らしい地名が残っていたりする例も数多く見られます。

遺構と伝承

のろし駅伝参加山城の一つである日爪城は、新旭町饗庭の日爪集落南西の「城山」と呼ばれる丘陵上に位置しています。創建には、室町時代に書かれた史料に「山門領荘官」として登場する日爪氏が関わったといわれ、この日爪氏は、中世、新旭町北部一帯を支配下においていた饗庭氏の一族であると伝わっています。

遺構は、標高195mに位置する東曲輪群と、標高207mに位置する曲輪(主郭)に区分されます。東曲輪群は、南北約58mの横

堀によって尾根の東端が遮断されていますが、横堀には土橋が残っていて、曲輪に上る通路に直結していることから、大手の遺構だと推定されています。

曲輪(主郭)は、東西約20m×南北約38mの長方形の区画で、西・南面にL字形の土塁がめぐらされています。また主郭から南西方向の尾根上には、4条の堀切が設置されています。

なお、城跡の山麓、現在の日爪集落の南西背後の竹やぶ付近には、「ネゴヤ」と呼ばれる場所があり、ここは城の創立に関わった日爪氏の館跡とも伝わります。「ネゴヤ」は「寝小屋」とも考えられ、日爪氏の常住の館跡である可能性が高いと考えられています。地域では、この場所は「慈恩寺跡」とも伝えられ、早い段階で何らかの施設が建てられていたことがわかります。

日爪城から約一キロ南には、国史跡の清水山城館跡が残されています。急斜面に囲まれ、防御性の高い造りとなっている日爪城は、清水山城館跡の出城とも伝えられ、その役割、存在価値が注目される山城の一つといえます。

文化財課 ☎(25) 85559

市内の山城5つが参加 2019のろし駅伝開催

琵琶湖周辺の中世の山城跡においてリレー形式でのろしを上げていく「近江中世城跡 琵琶湖一周のろし駅伝」が開催されます。高島市では下記5か所の山城跡で、市内の各実行団体によりのろしが上げられます。詳しくは文化財課へお問い合わせください。

▼開催日 11月23日(土)

【山城 発煙時刻】

打下城	10:32	清水山城	10:36	日爪城	10:40
伊井城	10:44	田屋城	10:48		

編集 雑感

この4月に社会人になってからというもの、運動をする機会がめっきり減ってしまいました。そのせいか、今年の夏は毎日バテバテで・・・顔も丸くなったような・・・これは、運動をして体力をつけねば!

何か始めるにはもってこいの秋、私は軽いジョギングを始めようと思います。健康のため、体力づくりのため、生活習慣病予防のため、そして何より来年の夏を元気に楽しむために、今からがんばるぞ〜! (YH)



広報たかしま

令和元年

11

月号

No.238

発行▼高島市

編集▼政策部企画広報課

滋賀県高島市新旭町北畑5の5番地

☎0740(25) 8000(代)

http://www.city.takashima.lg.jp

t:info@city.takashima.lg.jp